

議会だより みほ

2017.2.1

No. 116

茨城県美浦村議会

<http://www.vill.miho.lg.jp/gikai/index.htm>

美浦ステークスに花を添える

美浦中吹奏楽部（12月11日）



議会報告会を開催

平成29年2月11日（土）
午前10時～正午まで
美浦村役場 3階大会議室

平成28年第4回定例会 ②

平成28年第3回臨時会 ④

一般質問 ⑤

視察報告 ⑫

議員活動 ⑭



平成 28 年第 4 回定例会

平成 28 年第 4 回定例会は、12 月 6 日から 16 日までの 11 日間の会期で行われました。

今定例会では、村長から人事案件、条例制定・改正、補正予算等の 19 議案が提出され、審議の結果、すべての議案が原案のとおり適任・同意・可決されました。

また、議員からは意見書 4 件が提出され、すべて原案のとおり可決されました。

一般質問は 14 日に行われ、7 人の議員が登壇し、村政全般にわたり質問がなされました。

補正予算

補正予算を可決

今回の補正予算は、緊急性を要する事業及び国、県の補助事業に係るものについて計上しています。

会 計 名			補 正 額	予 算 総 額
一 般 会 計			1 億 5,409 万円	64 億 4,621 万 2 千円
特別会計	国 民 健 康 保 険		1,448 万 2 千円	22 億 4,419 万 2 千円
	農 業 集 落 排 水 事 業		7 万 3 千円	1 億 7,929 万円
	公 共 下 水 道 事 業		200 万円	9 億 4,908 万 7 千円
	介 護 保 険		376 万円	9 億 7,829 万 1 千円
企業会計	水道事業	収益的支出	36 万 6 千円	5 億 8,068 万 3 千円
		支本的支出	31 万円	1 億 243 万 5 千円

◆◆◆◆ その他の主な議案と審議内容 ◆◆◆◆

区分	議 案	議 案 内 容
条例制定・改正	美浦村地域交流館条例	地域交流館の設置及び管理に関し必要な事項を定め、地域活性化を目的として制定するもの
	美浦村税条例の一部を改正する条例	国内法整備が行われたことに伴う改正
	美浦村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	法律の一部改正に伴う所要の改正
その他	美浦村医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例	茨城県の医療福祉対策要綱等の改正に伴う改正
	人権擁護委員候補者の推薦について	任期満了となる人権擁護委員候補者に、鈴木 登氏を推薦しました。
	美浦村固定資産評価審査委員会委員の選任について	任期満了に伴い、美浦村固定資産評価審査委員会委員に村崎 友春氏の再任を同意しました。

平成 28 年第 4 回定例会議案・審議結果一覧

会期：平成 28 年 12 月 6 日～ 12 月 16 日

議案番号	件名	議決結果	賛否数		議 員 名													
			賛成	反対	松村 広志	竹部 澄雄	葉梨 公一	小泉 嘉忠	塚本 光司	岡沢 清	飯田 洋司	山崎 幸子	椎名 利夫	下村 宏	林 昌子	小泉 輝忠	石川 修	沼崎 光芳
諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1 号	美浦村固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2 号	美浦村税条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3 号	美浦村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4 号	美浦村医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5 号	平成 28 年度美浦村一般会計補正予算(第 6 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6 号	平成 28 年度美浦村国民健康保険特別会計補正予算(第 2 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7 号	平成 28 年度美浦村農業集落排水事業特別会計補正予算(第 2 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8 号	平成 28 年度美浦村公共下水道事業特別会計補正予算(第 3 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9 号	平成 28 年度美浦村介護保険特別会計補正予算(第 2 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10 号	平成 28 年度美浦村水道事業会計補正予算(第 3 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11 号	美浦村特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12 号	美浦村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13 号	美浦村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14 号	美浦村地域交流館条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15 号	平成 28 年度美浦村一般会計補正予算(第 7 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
16 号	平成 28 年度美浦村国民健康保険特別会計補正予算(第 3 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17 号	平成 28 年度美浦村農業集落排水事業特別会計補正予算(第 3 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
18 号	平成 28 年度美浦村公共下水道事業特別会計補正予算(第 4 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19 号	平成 28 年度美浦村介護保険特別会計補正予算(第 3 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
20 号	平成 28 年度美浦村水道事業会計補正予算(第 4 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議第 1 号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第 1 号	奨学金制度の改善と教育費負担の軽減に関する意見書の採択を求める請願	採択	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議第 2 号	奨学金制度の改善と教育費負担の軽減に関する意見書	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第 2 号	「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の採択を求める請願	採択	9	4	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	
発議第 3 号	「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書	原案可決	9	4	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	
請願第 3 号	「後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書」の提出を求める請願	採択	9	4	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	
発議第 4 号	後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書	原案可決	9	4	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	

※議長(沼崎 光芳議員)は、可否同数のとき以外は表決に加わりません。

※「○」は賛成、「×」は反対、「-」は欠席を表します。



請 願

◆奨学金制度の改善と教育費負担の軽減に関する意見書の採択を求める請願

【請願者】

日本労働組合総連合会茨城県連合会県南地域協議会
議長 木村 太一

【紹介議員】 山崎 幸子議員

【議決結果】 採択

【意見書提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣
◆「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の採択を求める請願

【請願者】

一般社団法人茨城県保険医協会
代表理事 宮崎 三弘

【紹介議員】 岡沢 清議員

【議決結果】 採択

【意見書提出先】

内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、総務大臣

◆「後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書」の提出を求める請願

【請願者】

茨城県社会保険推進協議会
代表委員 瀧澤 利行

【紹介議員】 岡沢 清議員

【議決結果】 採択

【意見書提出先】

内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

意見書

◆地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

【要旨】国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

【議決結果】可決

【意見書提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣

平成 28 年第 3 回臨時会は、10 月 18 日に開催されました。今回の臨時会では、財産の取得についての 4 議案が提出され、審議の結果、すべて原案のとおり可決されました。

議 案	議 案 内 容
財産の取得について	美浦村地域交流館直売所備品購入（ポスシステム）
財産の取得について	美浦村地域交流館直売所備品購入（厨房機器・什器）
財産の取得について	美浦村地域交流館備品購入（公設公営分）
財産の取得について	第 10 分団消防ポンプ自動車購入



平成 28 年第 3 回臨時会議案・審議結果一覧

会期：平成 28 年 10 月 18 日

議案番号	件名	議決結果	賛否数		議 員 名													
			賛成	反対	松村 広志	竹部 澄雄	葉梨 公一	小泉 嘉忠	塚本 光司	岡沢 清	飯田 洋司	山崎 幸子	椎名 利夫	下村 宏	林 昌子	小泉 輝忠	石川 修	沼崎 光芳
1号	財産の取得について（ポスシステム）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2号	財産の取得について（厨房機器・什器）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3号	財産の取得について（公設公営分）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4号	財産の取得について（消防ポンプ自動車）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議長（沼崎 光芳議員）は、可否同数のとき以外は表決に加わりません。

※「○」は賛成、「×」は反対、「－」は欠席を表します。

村道105号線の拡幅と修繕について



しもむら ひろし
 下村 議員

質問 村道105号線は交通量が多いにもかかわらず、道路幅が狭く、自転車や歩行者等がいると大変危険で、過去には死亡事故も発生している。この路線の拡幅工事・修繕をどのように考えているか、また村道104号線との交差点での事故防止策を尋ねる。

答弁 (経済建設部長) 村道105号線は、国道125号トレンセン入口交差点から県道上新田木原線の大須賀津地区を結ぶ、総延長2,470mの幹線道路。通称農免道路は経年劣化によって路面が荒れ



ており、一部は路面が沈下している。また、ガードレールの影響で、幅員が狭く感じられるような状況から、平成29年度より計画的に道路の拡幅・修繕・歩道整備をするよう、予算に反映させていく。茂呂から太田に向かう104号線との交差点は、事故が多く発生している。105号線も104号線と同

様な拡幅をし、センターラインを表示して優先性を強め、事故防止の看板や路面表示を検討していく。

光と風の丘公園の遊具・遊び場所の整備について

質問 光と風の丘公園の子供広場芝生付近のぬかるみ、水たまりや、遊具類の整備等について伺う。



答弁 (教育次長) 光と風の丘公園は、開園より20年近く経過し、老朽化も進んでおり、

整備等が行き届かない状態だが、整地や砂をまく等して、利用の改善に努める。遊具は劣化の激しいものから順次更新をして、子供達が安心して遊べるよう整備していく。

平成29年度職員の執行体制について

質問 数年に亘り、多数の管理職等の定年退職が予想される。人材確保の観点から、再任用制度はどのようになっているのか。

答弁 (総務部長) 地方自治法で定年退職者等の再任用について規定が示され、当村も準じて条例、規則として規定され運用している。

答弁 (村長) 村行政に経験豊かな、意欲のある職員には、再任用として積極的に手を挙げていただき、村に貢献をしてほしい。



一般質問

ストレスマネジメント先進の村へ



まつむら ひろし
松村 広志
議員

質問 極度のストレスに満ちた現代社会。その根底にある憂慮すべき社会の潮流として、米国の心理学者は「肥大化する自己中心主義」、「希薄化する他者との関係性」を指摘している。国内では過剰なストレスが、過労死や高い自殺率を生みだしている。問題を象徴するワードに、キラーストレスや夫源病（ふげんびょう）等があげられる。過剰なストレスは、私達の健康を蝕むだけでなく、健全な社会や経済を駆逐していく要因でもある。行政における取り組みを伺う。

答弁（保健福祉部長） 過剰

なストレスが招く弊害として、無気力症・テクノストレス症候群・不眠症・自律神経失調症・うつ病・引きこもり等があげられる。行政からは、ストレスチェックなどのツールを介して啓発を促したい。更には、人の繋がりや、社会力の強化によって、より心豊かな村づくりに向け取り組んでいきたい。

いじめ問題について

質問 全国的に後を絶たないいじめ問題。要因の一つに、「実態が掴みきれない」という声がある。学校教育側の認識の弱さが、対応・改善の取り組みを鈍らせていないか。いじめについては、する側が100%悪い。いじめられ

ていい子も、いじめていい権利を持つ子も存在しない。「いじめられる側にも原因がある」という声は結局、いじめを正当化するだけではなく、いじめる側の心の破壊にも繋がる。加害者も被害者も「どっちもどっち」くらいに思っている限り、いじめは無くならない。本村の実態と取り組みを伺う。

答弁（教育長） いじめ問題

については、重要課題の一つとして取り組んでいる。本村においても、嫌がらせ等々が数件確認されている。いじめ問題等連絡協議会をはじめ、関係機関等と共に改善に向け対処したい。より健全な教育環境の構築に向け、真摯に取り組んでいきたい。

庁内や地域交流館内におけるBGM（背景音楽）の検討

質問 ストレス対策の一環として、ヒーリング効果も期待

されるBGMの検討はどうか。
答弁（総務部長） 役場庁舎においては、業務が多岐に亘る為、慎重に検討していきたい。

答弁（経済建設部長） 地域交流館は、多世代が交流する憩いの場所である。よって、BGMは環境設備としては有用と考えている。効果的に使っていきたい。

家庭用火災報知機について

質問 火災現場にあつて、頼みの火災報知機が作動しないというトラブルが多発している。全国で607件（5年間累計）にも上る。原因として電池切れや機器の故障等が言われている。メンテナンスの呼びかけは必要ではないか。
答弁（総務部長） 産業文化フェスティバルや村防災訓練での啓発・周知活動のほか、村の広報誌やホームページ等でも、啓発を行っていきたい。

「福祉バス」について



やまざき さちこ
 山崎 幸子
 議員

質問 現在の美浦村福祉バスの使用規程は。

答弁（総務部長） 老人会・心身障がい者・母子世帯、村長が必要と認めたとき等の福祉事業や村内小中学校の校外学習の使用となっている。原則日帰り、17名以上39名以内の乗車、片道150キロ以内。

質問 使用規程の乗車人数が39名以内となっているので、校外学習で40名クラスは乗り切れず、ピストン輸送を行っているとのこと。ピストン輸

送では時間のロスになる。座席は40席あるので、規程の乗車人数を改定できないか。

答弁（総務部長） 福祉バスの座席数は、正座席33、補助席7の合計40席となっている。使用規程の見直しをする。

質問 福祉バスを新車購入した場合と、購入せずにバスと運転手を全委託した場合では、どちらが経済的か。



美浦村福祉バス

答弁（総務部長） 購入の場合、現行と同サイズは3千7百万円、大型では5千万円。どちらも納期は約2年後となる。全委託は年間約740万円。結論的には10年以上使用する場合、新車購入の方が経済的であるが、今のバスを当面大事に使っていきたい。

質問 新車購入の方が経済的との結論。故障してからの購入だと、納車まで約2年は民間バスレンタルとなり、かなり高くつく。故障する前に早い段階で新車購入に踏み切つて、納車するまで乗り続けた方が費用はかからずに済むのではないか。

答弁（村長） 宝くじの補助金制度を使う場合、バスの納期は2年の為、年度がまたがり、補助金が使えない。東京オリンピックが終わわり、バスの納期が1年以内となった時には買い替えを考えたい。



「生活介助員」について

質問 現在、遠足や修学旅行の時、生活介助員は同行していないが、そういう時こそ環境が全く違って情緒不安定になる可能性があり、介助員が必要だと思う。時間外手当や旅費等が発生するので、難しかったと思うが、年に数回のことなので、それらの予算を付けることはできないか。

答弁（教育長） 今後は、学校での生活介助を受ける児童生徒にとって最善の方法を考え、校外での活動に生活介助員の同行が必要である場合には、予算措置をしていきたい。



ロタウイルス予防について



はやし しょうこ
林 昌子
議 員

質問 乳幼児の健全育成の為にロタウイルス予防接種の公費助成を求め、昨年12月に質問をした。村長の答弁は、「健康に被害が無いとの厚労省の発表が出次第、年度途中でも実施していきたい。」とあったが、その後の進捗状況を尋ねる。

①ワクチンの安全性に対する厚労省の見解②本村及び近隣のロタウイルス予防接種助成の実績③今後の助成の動向

答弁（保健福祉部長） ①予防接種においては健康被害のリスクは拭えない。2016年9月のワクチン副反応検討

部会の報告が発表され、今後さらなる継続検証を行うこととしているので、見守っていただきたいと考える。

②県内で費用助成の市町村は16団体で実施率36.3%。③29年度以降、健康増進課事業3カ年計画の中で予防接種の推進を位置づけ、定期・任意接種をあわせ、一施策として助成制度の充実が重要と認識する。

答弁（村長） ③あくまで任意の予防接種であるが、村として来年度予算化に向けて検討していきたい。

地域猫対策について

質問 27年度の犬猫処分状況、野良猫の苦情件数と里親探しの相談及び対応、飼い主及び餌やりする方へのマナーアップ周知と実績、動物愛護

ボランティア公募の検討と進捗状況を伺う。また野良猫の去勢、避妊手術費用の助成が出来ないか伺う。

答弁（経済建設部長） 本村の27年度の収容状況は、犬が2匹、猫が15匹、28年度は9月現在で犬が8匹、猫が18匹。苦情相談件数は、27年度は12件、28年度は11月現在で15件。内容は近所の猫の糞尿、野良猫の敷地内住みつき等が多い。猫は動物愛護法上捕獲ができず、忌避剤等により自己防衛してもらっている。飼い主・餌やりする方のマナーアップ周知に関しては、毎年広報及び回覧文による周知、区長等の希望により回覧文書を提供している。阿見町・牛久市では、動物愛護と適正飼養に熱意のある住民の動物愛護協力員登録を実施している。本村も始める方向で検討していきたいと考えている。飼い主不明猫に対する去勢・

避妊手術費用の助成は県内では牛久市、阿見町、河内町、境町で行われている。

答弁（村長） 全国的にふるさと納税から費用を補っている地域が増加との事、本村でも使える部分の範囲の中で考えていきたい。

交通弱者対策について

質問 「地域交流館」完成で地域活性化が期待される。近隣との協力体制も含め、どのような交通手段を検討しているか。また、コミュニティバスは考えられないか。

答弁（総務部長） 地方創生推進交付金を活用し、29年2月から31年3月まで、美浦村から竜ヶ崎駅ルートを含む3路線の実証実験を予定している。村でデマンドタクシーを継続し、新たに「コミュニティバス」も走らせることは財政上非常に難しいと思われる。

クレジットカードによる公金の支払いについて



たけべ すみお
 竹部 澄雄
 議員

質問 過去2回、一般質問で「クレジットカードによる公金の支払い」についての質問があり、執行部と村長は、「導入に関して検討の余地がある」と回答してから4年が経過しているが、「クレジットカードによる公金の支払い」についての検討結果は。

答弁（総務部長） 本年8月に収納課で土浦税務署管内14市町の調査を行ったところ、6市で導入済みとなっていた。対象税目は、軽自動車税のみや、複数の税等を対象としている市など、ばらつきがあつた。

本村における滞納繰越分の整理状況はここ数年で大きく改善されているが、今後の課題は、現年度の収納率をどのように向上させるかという段階にきている。そこで平成29年4月からのクレジットカードによる収納の導入をめざし、事業者との協議を開始している。納税者が支払う費用については、現在、多くの市町村で採用されている、村が50円を負担し、残りを納税者が負担する形となり、コンビニ収納と同様になる。対象税目は、村県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、保育所・幼稚園利用者負担金、上下水道使用料を予定している。

質問 村長は、平成25年度課税分に関して、収納率が98%

から99%に上がっていると回答しているが、その後も同様にこの収納率を確保しているのか。

答弁（総務部長） 村県民税、固定資産税、軽自動車税の3税とも年々向上している。



物産館について

質問 平成29年3月にオープンする物産館では、美浦村産の農産物だけを販売するのか、また、来館者が物産館に来ることが楽しくなるような構想は考えているのか。

答弁（経済建設部長） 村内

の出荷者だけでは、直売所のブースが埋まることは非常に難しい状況なので、県内の特産物や美浦村と交流のある町村の物産品、JRAグッズ、村内企業と交流のある市町村の物産品も販売に繋げていければと考える。また、毎月イベントを開催し、団体それぞれの特産品の交流を加速させ、販売類の増加と地域交流館の活性化に向けて進めていきたい。

質問 物産館の清掃は、屋内だけを清掃委託するのか、屋外の清掃はどうするのか。

答弁（経済建設部長） 館内は年に3、4回の床等のワックスかけを業者委託し、毎日の清掃等はシルバー人材センターへの委託を考えている。屋外については、担当職員が清掃し、共用部分については㈱カスミ美浦店と共同で清掃したいと考えている。



一 般 質 問



質問 村の花、やまゆりの群生地をつくっていただきた
い。観光資源としても活用を。



おかざわ きよし
岡沢 清
議 員

村の花「やまゆり」の群生地を

答弁 (総務部長) 本村の村

花であるやまゆりは、昭和60年の美浦村誕生30周年の記念事業の一つとして選定された。そのやまゆりが、なかなか見ることができないことは寂しいと考える

群生地をつくるとなると、管理を行うボランティア等の組織化が必要。また、直ちに大きい予算をかけて、群生地をつくることは、現在の村の財政を考えると難しいと言わざるを得ないが、『長い時間をかけて、財源を捻出して、多くの住民も参加して、村の花やまゆりの群生地をつくるという夢とロマンのある方向に向けて、村全体で動いていこう』との提案には、全く同じ気持ちである。

答弁 (村長) 村にやまゆりの群生地をつくることはいい

こと。公園だと、雑草の草刈りの時にやまゆりも一緒に刈ってしまう。公園でなく、山林のなかに植えておくのが、自生していくもになると思う。

非常勤職員の育児休業、 取得しやすい環境を

質問 非常勤職員の育児休業取得の要件、取得期間は。

答弁 (総務部長) 非常勤職員として、一般事務の補助をする事務補助職員、保育士教諭、生活介助員、図書館司書等の技術補助職員、送迎バス搭乗員等の労務補助職員がいる。(取得できるのは) 条例で定める3つの要件のいずれにも該当する職員。取得期間は、原則、子どもの出生の日から1歳誕生日の前日まで。

特例として、保育所の入所を希望しているが入所できない、あるいは、特に必要と認める

場合、1歳6か月に達するまでへと期間が延長される。



質問 育児休業の取得を保証するための適切な人員配置等の配慮は。

答弁 (総務部長) 年度途中に育児休業等で職員の補充が必要となっても、事前に登録している方の中から代わりにその部署にあたってもらうことで、職務に影響が出ないように対応している。育児休業法の目的に沿って、その目的が実現できるようにしていきたい。

村民体育祭の今後について



い い だ り ょ う じ
 飯 田 洋 司
 議 員

質問 人口減少の中、各行政区内で選手確保が難しくなっている。今後の村民体育祭の改革はどうするのか。

答弁（教育長） 少子高齢化の現状を踏まえ、地区対抗種目の内容を、幅広い年齢層の方が参加出来るよう工夫したり、一般参加種目をふやした結果、今年度は参加地区も増加に転じた。改善すべきは改善し、参加地区、参加者をふやすことに留意しながら、今後も村民体育祭を開催していきたいと考える。

地域交流館開所準備のタイムスケジュールは

質問 29 年春、開設予定の地域交流館の企画・サービスなどの内容とタイムスケジュールは。



答弁（経済建設部長） 交流館直売所は、JA 茨城かすみと指定管理を前提に準備を進めている。企画は現在検討中

大山スロープの環境問題について

質問 以前にも、何回かこの問題を質問したが、なかなか向上しない。ゴミ問題について今後の対策は。

答弁（経済建設部長） 大山スロープ内での不法投棄は、警察官 O B の廃棄物対策監理官による巡視・回収を行っている。霞ヶ浦河川事務所でも巡視し対応している。27 年には啓発看板設置、28 年 7 月には稲敷警察署が中心となり、水上バイク利用者のマナー向上キャンペーンを大規模に行

で、早急に関係各課で協議し決定する。オープン後は、毎月の販売イベント、ポイント還元セール、サイクルサポートステーション・サイクルスタンドの設置、受付係常時配置による観光・各種情報提供、ATM 設置等を企画している。

周辺地域のゴミ集積場への投棄に関する防止策としては、掲示物の張りつけ、集積場の通りから離れた目立たない場所への移設申請をお願いしている。また、一部の湖面利用団体により、ゴミの持ち帰りについて、チラシの配布・口頭での啓発活動を実施していただいている。





視察研修報告

◆総務常任委員会

【視察日】

平成28年11月24日～25日

【視察先】

○神奈川県藤沢市湘南広域都市行政協議会

○ファーマーズセンターみのれ立川

○埼玉県狭山市ふれあいファームセンター

【視察目的】

広域行政連携による『公共交通』の運用状況及び、本村でこの春開館予定である地域交流館内の『農産物直売所』の運営に関する研修

【視察内容】

1日目、54年ぶりの雪の降る中、藤沢市にある湘南広域都市行政協議会（藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町）で視察研修を行いました。事務局から平成28年度の事業計画や公共交通の行政連携について詳細な説明を受けました。それぞれの市町村の特性を活かした公共交通が運用されており、国

の交付金も毎年利用し、平成29年度末には新たなバス路線の開設を目指しています。

また、9市1町からなる県央湘南地区でのバス交通等の利便性に向けた研究も取り組んでいます。



公共交通の行政連携を研修

2日目は、立川市が地産地消・農地保全・農業生産力向上推進等を目的に市民交流の場として3年前に設置された直売所の、みのれ立川を視察しました。

J A東京みどりのセンター長の説明では、本村で予定している直売所と同じ売り場面積で、本年度の売り上げは2億2千万円を超えるということで参加者全員大変驚きま

した。また、運営は市とJ Aが管理運営協定を結びJ A主体の運営協議会が事業を展開しています。

次に、狭山市のふれあいファームセンターの直売所を視察しました。ここは、株式会社アンフィーが運営する直売所で、地元の野菜が売場一杯に並ぶとのことでしたが、前日の雪で少し空きスペースがありました。

本村においても、公共交通の広域化の検討が始まりました。また、この春開館予定の地域交流館、直売所の運営等、積極的に取組み住民に喜ばれる施設となるよう努めていきます。

◆龍ヶ崎地方衛生組合

【視察日】

平成28年11月9日～11日

【視察先】

○宮古島メガソーラー実証研究設備

○宮古島市地下ダム資料館

○宮古島次世代エネルギーパーク

・エコランドPR館

・バイオメタノール生産施設
○沖縄県中頭郡西原町 東部清掃施設組合汚泥再生処理センター

【視察目的】

宮古島市の環境モデル都市行動に基づいた環境行政への取り組みや、東部清掃施設組合汚泥再生処理センターが行う、し尿等の処理、運営管理における衛生事務等の状況を視察研修することにより、さらなる広域衛生及び行財政の進展及び運営の参考とする。

【参加者】

石川 修 小泉 嘉忠

【視察内容】

宮古島市は、沖縄本島の南西に位置し、6つの島から構成され総面積204.5km²で78%を宮古島が占めております。豊富な自然や景観資源を有する一方、水に関する問題や食糧、エネルギーを島外に依存している状況にあるため、急速な社会資本整備や産業経済活動の活発化などにより、自然環境への負荷が地下水や海洋汚染等に表れるようになり、市民より環境保全の

必要性が訴えられるようになってきました。

こうした背景をもとに、2008年に「エコアイランド宮古島宣言」を行い、継続可能な島づくりに取り組むこととし、具現化に向けた計画策定を行い、2009年に「環境モデル都市」として認定を受けております。

東部清掃施設組合汚泥再生処理センターは、同組合が運営する西原処理場の老朽化が進んだため新しい汚泥再生処理センターとして計画されました。近年、し尿処理施設は、し尿を衛生的に処理するだけでなく、堆肥化、リン回収、助燃剤化等の資源化処理を行う汚泥再生処理センターとして整備が進められており、当センターも助燃剤化システムを導入し、同組合で運営する清掃工場にて助燃剤として使用し化石燃料の使用削減に貢献しております。

視察研修では、まず、1日目は宮古島市にてメガソーラー実証研究設備、地下ダム資料館を視察、2日目は、エ

コアイランドPR館にてエコアイランド宮古島の概要について説明を受け、その後、バイオエタノール生産設備での視察を行いました。3日目は、東部清掃施設組合汚泥再生処理センターにて施設の概要、運転管理について説明を受け、施設視察を行いました。



汚泥再生処理センターを視察

視察研修中には終始多くの議員から様々な質問が出て、活発な意見交換をすることができ大変有意義なものになりました。

◆経済建設常任委員会

【視察日】

平成28年11月21日～22日

【視察先】

○群馬県高崎市役所

○群馬県伊勢崎市 伊勢崎浄化センター

○埼玉県春日部市 首都圏外郭放水路

【視察目的】

高崎市の空き家対策事業、伊勢崎市浄化センターの汚泥を利用したバイオマス発電と放流水を利用した小水力発電、首都圏外郭放水路の日本における治水対策の最先端技術の視察研修。

◆厚生文教常任委員会

【視察日】

平成28年10月20日～21日

【視察先】

○静岡県藤枝市役所

○神奈川県足柄上郡山北町役場

【視察目的】

藤枝市の健康マイレージをはじめとした「健康・予防日本一」ふじえだプロジェクト」の取り組み及び、山北町の活力のある学校づくりを目的とした「公立小中学校の統廃合」の取り組みを調査する。

◆議員会視察研修

【視察日】

平成28年10月25日～27日

【視察先・内容】

○宮崎県東諸郡綾町役場

「自然生態系農業の推進などのまちづくりについて」

○宮崎県小林市役所

「チョウザメの活用について」

【視察目的】

これからの議会活動の活性化及びさらなる村政の推進のため、先進地を視察、研修し知見を深め今後の議論の参考にする。

◆稲敷地方広域市町村圏事務組合

【視察日】

平成28年11月17日～18日

【視察先】

○福島県伊達市 伊達地方消防組合

○福島県相馬市防災備蓄倉庫・顕彰碑

【視察目的】

組合議会運営と広域行政が一層の進展と効率化を目指すことを目的とする。



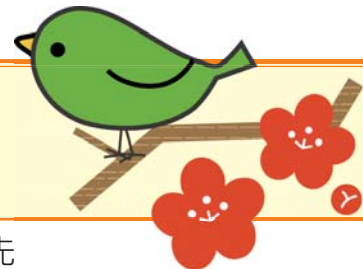
議員活動

11 月	1 日	龍ヶ崎地方衛生組合議会定例会	12 月	7 日	議会経済建設常任委員会 節電街頭キャンペーン
	2 日	美浦横越交流協会来村に伴う歓迎会		8 日	議会厚生文教常任委員会 縄文ムラまつり参加に係る反省会
	3 日	みほ産業文化フェスティバル		9 日	議会全員協議会 地域交流館現地視察 議会地方自治研究会 議会広報公聴委員会
	4 日	木原小学校校内芸術鑑賞会		11 日	美浦ステークス
	5 日	ノーテレビ・ノーゲーム運動推進大会		12 日	農業委員会定例総会
	6 日	2016 いばらきまつり		13 日	議会地方自治研究会
	7 日	地方議会活性化シンポジウム 2016 大谷小学校絆づくりプロジェクト会議		14 日	議会定例会
	8 日	県南町村議会議員大会		16 日	議会定例会
	9 日	龍ヶ崎地方衛生組合議会議員先進地視察研修～11 日 平成 28 年度定期監査～11 日・14 日 第 60 回町村議会議長全国大会		21 日	陸平縄文ムラまつり第 4 回実行委員会（反省会）
	12 日	第 27 回稲敷地区交通安全母親大会 第 6 回郵便局主催美浦村輪投げ大会		22 日	村例月出納検査
	14 日	江戸崎地方衛生土木組合議会全員協議会 稲敷地方広域市町村圏事務組合議会定例会	1 月	26 日	江戸崎地方衛生土木組合出納検査 江戸崎地方衛生土木組合議会第 2 回新焼却炉建設勉強会 茨城県からの国体に関する要望
	15 日	ハーモニートップセミナー		6 日	第 6 7 回千鳥会
	17 日	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会行財政視察研修～18 日		7 日	美浦村消防出初式
	19 日	陸上自衛隊武器学校・土浦駐屯地開設 64 周年記念式典 江戸崎地方衛生土木組合議会第 1 回新焼却炉建設勉強会		8 日	美浦村成人式典
	21 日	議会経済建設常任委員会視察研修～22 日 町村議長行政視察～22 日		10 日	建設関連業 4 団体共催新春賀詞交歓会
	22 日	江戸崎地方衛生土木組合出納検査		11 日	明日の茨城づくり新春のつどい
	24 日	議会総務常任委員会視察研修～25 日		12 日	議会地方自治研究会 平成 28 年度県南町村負担金審議委員会
	25 日	喜寿お祝い会 4 団体と知事との県政要望懇談会		13 日	茨城県市町村振興協会第 1 回定例理事会 平成 28 年度第 2 回市町村負担金審議委員会
	26 日	美浦老連 11 月期輪投げ大会		14 日	トレセン周辺区長連絡協議会中山競馬場視察
	28 日	江戸崎地方衛生土木組合議会定例会 航空騒音等にかかる要望に対する回答		15 日	茨城県町村会・町村議長会合同会議第 1 回役員会
	30 日	議会運営委員会		19 日	美浦村新春賀詞交歓会
12 月	1 日	村例月出納検査 美浦村社会教育委員会議		20 日	社会福祉法人改革に伴う定款改正とスケジュール説明会 議会広報公聴委員会 宮崎県小林市議会事務局視察研修受け入れ
	2 日	第 3 回美浦村まち・ひと・しごと創生有識者会議 年末の交通事故防止県民運動に伴うキャンペーン		24 日	茨城県市町村総合事務組合議会定例会
	5 日	地方創生講演会		25 日	江戸崎地方衛生土木組合出納検査
	6 日	議会定例会 議会全員協議会		26 日	議会運営委員会視察研修～27 日
	7 日	議会総務常任委員会		30 日	村例月出納検査 茨城県町村会・町村議長会合同会議第 1 回定例会

次回定例会は、3 月 6 日（月）開会予定です。

議会を傍聴してみませんか

- 役場 3 階の議場まで新設のエレベーターでお越しいただけるようになりました
- 役場 1 階のロビーでも本会議の実況をご覧になることができます
- 会議録や議会だよりなどホームページに掲載しています
- 議会だよりについてのご意見・ご要望をお待ちしています



お問い合わせ先
議会事務局

☎ 029-885-0340 内線 301・302

E-mail gikai@vill.miho.lg.jp

URL <http://www.vill.miho.lg.jp/gikai/index.htm>

議会広報公聴委員会

委員長 山崎 幸子
委員 飯田 洋司
委員 葉梨 公一

副委員長 岡沢 清
委員 塚本 光司
委員 竹部 澄雄

委員 椎名 利夫
委員 小泉 嘉忠
委員 松村 広志